

勝連城の歴史

勝連城の最初の砦は、12 世紀に建てられた木の柵でした。石の城壁は 14 世紀に建設が始まり、歴代城主によって徐々に拡大・延長されていきました。有名で先見の明を備えた指導者であった阿麻和利は 15 世紀初期にこの城を支配し、彼の統治下でこの地域は栄え、強力になりました。勝連城で発掘された遺物は、阿麻和利とその後継者たちが、城のすぐ隣にある素晴らしい港を活用して活発に海外貿易を行っていたことを示しています。勝連城は、1458 年に阿麻和利が敗北して死亡し、この地域が自治権を失うまで占有されていました。勝連城はその後、首里城を拠点とする琉球王国に吸収されました。